

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【ふれあいと創造の里：出席者数：22人】

日時：6月19日（土）15：00～17：00

	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>3つ意見というか、私の思っていることを言わせてください。一つは、望ましい幼稚園の教育というか、規模なのかわかりませんが、私のことと言うと、思い出として残っているのは、小学校の低学年、中学校ぐらいからで、幼稚園という、多分皆さん、あまり思い出がないと思います。なぜかと言うと、幼稚園の時期というのは、全てを受け入れて、自分の中に取り込んで、自分の成長の糧にしていくという年代です。一番大事なものは、自分が大事にされたという思いと安心できる場所を持っていたということ。人生の最後まで一番大事にしていかないといけないのは、そこではないかという気がします。多くの人数の中で共存したり、いろいろ揉めごとを経験したりするのは、もっと後で十分です。先程の話で言うと、思い出として心に残っている小学校3年生のときにこんなことがあったというのが、他の人との関わりの中で、勉強していかないといけないということになると思います。</p> <p>話を聞いていると、そうではなくて幼稚園の段階でそれを学ばせたいというふうに聞こえますが、それは間違っているのではないですか。</p> <p>ある大規模の幼稚園では、運動会の練習をするときに、あんまり人数が多すぎて、先生がそれぞれの子どもの名前が分からないので、番号が付いていて番号で呼ばれる。これはどう考えても幼稚園の状況ではないという気がします。</p> <p>私は本庄幼稚園によく行きますが、こちらもすぐ名前がわかりますし、子どもも私の顔を覚えてくれているから話をしてくれます。これが15人や30人となるとそういうわけにいかないです。私はたまに行くからそうですが、先生方にとってもそうではないかという思いがあります。一番言いたいのは、幼稚園の年代で一番子どもたちに身につけてほしい、あるいは一番体験してほしいというのは、思い出などの後に残るものではない部分が一番大事ではないかと私は感じています。意識しないでも自分の中に貯まり、自分を形成し</p>	<p>幼児期に経験したことを取り込んで糧にしていくというのはまさにそのとおりです。幼児期の経験というのは、これから生きていく上で基礎となる部分を育てるために重要です。大人に大事にされて安心感を持つということは本当に人間の根本になっているところで、愛着を持って、人から大切にされているというところがあって、他の人と関わっていけるようになるというのはまさにそのとおりです。ですが、子どもは3歳ぐらいになると社会性が大きく育つ時期とも言われていますので、大人に大切にされるだけでなく、大人に見守られながら友だちと関わっていろいろな経験をしていく時期でもあります。</p> <p>本庄幼稚園の良い部分についてどう思っているのかということですが、本当に地域の皆さんには、幼稚園の活動等にも様々にお力添えいただいて大切に育てていただいております、一緒に育てていただいていると思っています。そういう部分を大切にしながら、子どもは子どもの中で育つという部分も大切に考えていかないといけないと考えています。</p> <p>小学校との連携についてですが、幼稚園から小学校に上がるときに、できるだけスムーズに抵抗なく入っていけるように、送り出す側と受け入れる側が連携しながら子どもさんのことを大切に、丁寧に引き継ぎをしていきたいと思っています。</p> <p>公立が私立に負けるのではないかというお話がありました。本庄幼稚園でもやってきましたが、子どもの多様な体験を大切にしようという公立幼稚園がこれまで積み上げてきた良さを生かした認定こども園をつくりたいと思っています。そういうところで子どもが育つなら公立の認定こども園に行かせたいと選んでいただけるような認定こども園をつくっていきたくて考えております。</p>

	<p>ていくもととなっているものが、幼稚園の時代では、私たちが子どもたちに与えるべきものではないかと思っています。だからあまり人数は関係なく、本当に子どもたちが大事にされているかどうかということが一番大事と思っています。</p> <p>本庄の場合は人数が非常に少ないですが、地域の力添えていろんなことをやったださっています。こんなに地域の支えを受けながら育てている子どもたちは多分、三田市にはないと思います。その本庄幼稚園の良い部分をどのように評価されているのか全然聞こえてこないです。人数が少ないから一緒にさせますというのはよく聞きますが、もっとそこを評価して、計画を提示していただきたいと思います。</p> <p>小学校との連携もすごくうまくいっています。本庄幼稚園に来ていない子どもが小学校で一緒になるところは少し気になるところですが、本庄小学校とずっと一緒に活動している本庄幼稚園の今のあり方というのは、私にとって理想に近いと思います。</p> <p>もう一つ、気になることは、認定こども園にして公立で他の民間の認定こども園に勝てるのですか。長時間の保育を希望されている方が多いから三田市はそうしますと言われていますが、民間の方がもっと親の希望に寄り添った形にどんどん変えていきます。その中で認定こども園にしますのので来てくださいとってどれだけ増えるのかという見通しを聞かせください。意見としては反対です。</p>	
B	<p>今回が初めての参加で前回の説明会のことがわかりませんが、賛否については何とも言えないところではあるのですが、説明の中で気になった点について聞かせてください。</p> <p>平成13年から令和2年までの人口推移の表で、0歳から5歳児は平成13年から令和2年までで7割ぐらいに減っています。市立幼稚園の園児推移数の表では、平成13年の834人から令和2年が281人で約30%となっています。この約20年間で、市の人口のうち、その該当人数が7割に減る中で、園児数は3割にまで減っています。この理由は何ですか。</p> <p>待機児童数を考えながら時間的にもっとフレキシブルに対応した方がそう望む人がいるようだとおっしゃっていましたが、データだけではなく実際に待機児童で待たれている方や私立に行かれてい</p>	<p>園区内の子どもさんがいろんな施設に通われているという状況をご確認いただきましたが、保護者の方々が施設に通わせられる目的が変わってきていて、公立幼稚園の午後2時までお預かりするだけでは対応できないというところが大きな理由ではないかと思っています。そういうところもありまして、この再編計画で認定こども園化し、保育所機能を追加したり、幼稚園として通われるにしても週5日の預かり保育を実施していくということを考えています。</p> <p>先程の言われていたのは、就学前の園区内の子どもたちが、今、どういう施設に行っているかということだけではなく、実際に通うであろう人たちにもこういう施設だったらどうですかということまで確認しておいた方がいいのではないかと思います。</p>

<p>る方にヒアリングをしたことはありますか。生の声は、データを見て判断するのと意外とずれている可能性もあります。幼稚園のこういう計画は1年や2年で簡単に変更するというわけにはいかない。最低でも5年、10年、20年という長いスパンで見えていく中で、最初のデータ取りで見誤ってしまうと取り返しがつかないのではないかと思います。</p> <p>私の子どもは中学生ですが、2040年は20年後なので、子どもは結婚して、孫が幼稚園に行く頃だと思います。単純に先ほどの数値をそのままスライドさせると、今度は孫のときにまたするのかなというイメージがあります。現状をどうしますというのはわかりますが、5年、10年、20年先がどうなるかというのが見えません。</p> <p>小学校も児童数が同じようなグラフの推移をたどれば、結局は再編というのが頭をよぎるのではないですか。幼稚園だけ見れば、保育は2年だけですけど、小学校は6年、中学校は3年と計11年、こういうことが付きまとう可能性があるのではないかということも見えてきます。そう考えると、先の計画というのも明確にしていたかかないと、後々にまた、という形になるのではないかという懸念を聞いている中で持ちました。</p>	
<p>待機児童の人がなぜ待機しているのか。市立保育園にも私立保育園にも行けないから待機しているというのであればそれはわかりませんが、もしかすると私立には行きたいけど、市立には行きたくないということかもしれない。なぜ待機していて、どうしたら待機しなくなるのかということヒアリングするなどして調べられているのかというところが説明の中では見えなかったものでどうなのかと思いました。</p>	<p>通いたい施設というのはそれぞれ保護者の方の希望があります。待機児童というのは施設に入所したいのに入れないという状況で、基本はやはり受け皿の整備が必要であると思います。保育施設が受け皿として存在していることが対策であると思いますので、新たに民間施設ではありますけれども、令和4年4月にゆりのき台に保育所が開設されます。そこは120人規模の保育所になりますので、受け皿としてはかなり大きなものになるのではないかと考えております。</p> <p>現在のところ、公立幼稚園を認定こども園化し保育所機能を持たせることで、少なくとも今いらっしゃる保護者の方たちに、認定こども園にするとお越しになられますかということをお尋ねしたことはありませんが、本庄幼稚園区内にいらっしゃっても保育所や民間の認定こども園にお預けになられている方がいらっしゃいます。再編・集約することによって、本庄幼稚園が認定こども園になるわけではないので、物理的に距離が遠くなる部分もあるにしても、保育所にお預けになりたい方が市街地やニュータウンまで行かなくなくても、少なくとも広野まで行けば、お預けいただけるという状況があれば、少なからず保護者の方にとってもある程度の支援になってくるのではないかと考えています。</p>

		<p>2040年には0歳から14歳の子どもさんが、1万5千人弱から1万人近くに減ってしまうというお話をさせていただいております。認定こども園2園に集約する前提で、お話をさせていただいておりますが、利用時間を長くして、より多くの方がご利用いただき、この先また減ってしまって、また何かしないといけないということがないように、今後のコストのこともそうですが、少なくとも今後30年ぐらいはこうした形のものを残していけるようにということも念頭に置きながら、計画案をつくっていかないといけないと思っております。なぜ30年かというところ、お子さんが大きく育てられて、また次にお子さんのお生まれになるサイクルの中で考えていかないといけないと思っております。</p>
C	<p>資料3ページの地図を見て思いますが、場所は広野と志手原で本当に適正だと思いますか。三田市の広さを考えたら、ちょっとずれている気がします。せっきく農村部という言葉はいただいておりますが、これは人口の話ではなく、農村部合わせですか。広野と志手原は少し違う気がするのですが、ここをもう少し詰めることはできないのですか。ゆりのき台にまた大きいのができます。残すところは広野でしょうか。長い目で見るときにどう思われますか。</p>	<p>広野や志手原よりも、もう少し立地として考えられるところがあるのではないかとこのご意見ですね。例えば、具体的な場所について意見をお持ちですか。</p>
	<p>私は本庄の人間なので本庄とは言いたいところですが、地図だけを見ると、北側があまりにもすっからかんな。東西の話ではなく、人がいるところという今、三田は南ばかりではないですか。広野なのかなと。</p>	<p>今回幼稚園を再編・集約するわけですので、幼稚園が立地している園区の方々からすると、どこの地域においても幼稚園は地域の方々非常に大切に思っていますので、ありがたいことだと思っています。言いにくいことでしたが、本庄幼稚園という思いはもちろんお持ちだと思います。私どもは、人口で考えて南部ということではなく、幼稚園機能ももちろんですけども、認定こども園にすることによって保育所機能を持たせようとしています。</p>
	<p>箱の話ですか。</p>	<p>箱の話ではなく、そこにお預けに来られる利用者の方が保育所機能として使われるところを考えたときに、一般的になんですが、保護者の方が保育所にお預けになれるのは働きになられているというのがほとんどだと思います。保護者が働きに行かれる就労場所を考えたときに、いろいろなケースが保護者の方によってはあると思いますが、市内で考えたときに、例えば、藍や本庄から広野の方面に向かわれる、あるいは南の方に向かわれる方、志手原もそうですけれども、働かれる場所としては南側に行かれる方が多いのではないかとこのところを、考え方として私たちが持たせていただいているところです。建物の話ではなく、今申しあげたところが私たちの考え方のベースとなっています。</p>
	<p>私には広野である理由が余計になります。広野幼稚園の位置</p>	<p>例えば母子の方は母子がいいとおっしゃり、高平の方は高平がいいとおっしゃ</p>

	<p>から考えると、ウッディタウンやフラワータウンに上がればいいと思います。地域の話をする、北側の拠点というのが、どんどん無くなっている。人も増えないですし、増える要素も今はないです。幼稚園施設がないともっと減ります。</p> <p>だから、農村部というのであれば、場所はもう一度詰めてもらった方がいいのかなと思います。納得できる立地とは思えない。交通の便が良いというのは書いてありますが、田舎に行くほど交通の便が良い。安全面を考えたら広野がいいのか、と思います。それは高平地区、小野地区、志手原地区を見ても、志手原なのかなと普通に思ってしまうので、もう少し折衷案は出せないのかなと思います。</p>	<p>っていて、私たちもその気持ちはすごく嬉しいし、愛されているなというふうに感じる場所です。広野は、ニュータウンの施設が近くにあるので、そんなにそちらに寄せるのではなく、場所的な全体の適正配置というのであれば、北部や西部に、もっと寄る方がいいのではないかとこのご意見だと思います。</p> <p>私たちがこの再編計画案を作った考え方としては、認定こども園は、一定規模があった方が友だちづくりや仲間づくりができて、お互いに学び合えるような環境を作れるのではないかとこの考え方がベースにあります。ですので、子どもさんが公立の認定こども園に集まりやすい環境をできるだけ作りたいというのが私たちの願いだということです。</p> <p>そのときに、その一つとして子育て支援、就労支援にもなる認定こども園化をすることによって、今まで地域外に出ていっていた方々にもご利用いただける可能性が高くなるのではないかと考えています。就労支援ということで、事業所に近い、お勤め先が近いということをお考えすると、人が集まっているところに近い場所に認定こども園を作った方がその可能性が上がるのではないかとこの考え方でございます。</p> <p>子どもさんにいかに来ていただける認定こども園にするのかというのが第一にあって、地域の方々が大事にされていますし、優劣をつけるわけでもなく、公教育としての幼稚園教育をできるだけ多くの子どもさんに受けていただきたいという願いもあり、この再編計画案では広野と志手原という形で提案させていただいているところでございます。</p> <p>いただいたご意見は、場所的な位置としては、西部や北部に配置することがこの地図から見ても望ましいのではないかとこのご意見については受け止めさせていただきまして、検討の材料にさせていただきます。私たちが思っているのは、子どもさんに集まっていきたい、ということですので、もう少し具体的にご意見がいただけるのであれば、それも参考に再編計画についても考えていきたいと思っております。</p>
B	<p>今、案として出ていますが、これがもう変わることはないのでしょうか。</p> <p>本庄幼稚園は4歳・5歳児は午前8時から午後2時までですけれど、それを3歳児から5歳児、時間ももう少し伸ばすということが出ていますけれど、これで私立に勝てるのかという懸念が出てくると思います。</p> <p>話を聞く中で、私立に通っているお子さんが来てくれればという</p>	<p>私立との競争をベースにしているわけではありませんが、実際に通う子どもさんがいなくなって、統廃合したはいいけれども、というお話かと思えます。</p> <p>公立幼稚園が立地している中で、地域の方との関わりもそうですけれども、自然環境の話もよく聞きます。公立幼稚園がそういう中で幼児教育を行っているところは、公立の強みだと思いますし、園児の方が来ていただけるように、そういうところはPRに努めます。</p> <p>今のお話のように、実際にこうやって進めていくけれども、こんな状況になっ</p>

	<p>ことを言われましたが、統廃合することで、今いる人間にとってはデメリットが発生すると思います。広野であれば本庄から遠くなりますし、藍になれば更に離れる。そうなると、この保育条件で遠い距離に行くぐらいなら私立に行った方がいいというように、今私立に行っている方が純増という見方をされていると、減ることが必ずあると思います。私立の方が魅力があるから私立に行っている人が来なければ、またギリ貧になって、また統廃合の話になってしまう可能性が出てくると思います。</p> <p>地域の人など、いろんなところの情報を集めて、ニーズに沿った形にしておかないと、すぐにこの計画の見直しが発生する可能性があるのではないかと思います。各地域の方たちはどういうニーズの保育を望んでおられるのかというデータを取って、それをフィードバックさせないと統廃合したものの離れて行く人がいて、結局適正人数ではないという可能性が出てくると思います。その点で、1号・2号を考えられたと思いますが、そこから多少フレキシブルに計画を見直すということがありますか。</p>	<p>たらどうするかという懸念が発生したときにどのように考えていくかということも含めて、この計画案の中に盛り込んでいくこともできると思います。</p> <p>今回の意見交換会を開かせていただいているのは、そういったお声を聞きながら、私たちの視点だけではなく、皆さんの視点で、盛り込んでおかないといけないところを加えさせていただくことが必要ではないかと思っております。</p> <p>今のようなご指摘は本当に真摯に受けとめながら計画を考えていきたいと思っております。</p>
A	<p>人口推計の表で、このままだったら、こうなりますというのがありました。何か手立てを考えているのですか。</p> <p>前回の説明会で一番強く出ていたのは、本庄に人口を増やそうとしても増えないのはなぜかということをしていました。それに対して何も返事がないです。放っておいたら本庄はもっと減っていきます。幼稚園をつくっても幼稚園に通うような子はなくなります。地域が一番抱えている問題に何も返事がないままで終わるのは嫌なので言わせていただきました。</p>	<p>言われているのは、市街化調整区域が人口減少の一番大きな要因ではないかということだと思います。市街化調整区域によって、いろんな開発の規制がかかってくることもあるのかもしれませんが、平成10年に市内全域が都市計画区域になり、市街化調整区域になりましたが、その後の平成13年からの人口の状況を見ていただくと、その中でも若い世代が流出しているという状況は確認できると思います。</p> <p>この本庄地域、他の地域もそうですが、市街化調整区域を外して、大規模な宅地開発を行って人口を増やすというのは、あまり現実的ではないと思います。これまでに減ってきた数を同じように戻そうとすると、どれ程の住宅を開発して人口流入させないといけないかということを考えたときには、現実問題として厳しい部分はあると思っています。</p> <p>ただ市街化調整区域の中でも住宅が建てられるように、平成27年からは一部条件を緩和させているところもあります。もちろん農地を宅地にするとなれば農地転用等の手続き等もあり、一定の時間はかかると思いますが、市街化調整区域の中で世帯を分離されて住宅を建てるときは、条件が緩和されているところもありますので、そういうところを活用いただきたいと思います。</p>

		<p>市街化調整区域の規制を排除して大規模な宅地開発というのが現実的ではないなというのはもう一点あります。市内 10 地区では市街化調整区域ばかりではなく、市街化区域もあります。フラワータウンやウッディタウンもあります。</p> <p>大規模宅地開発で同時に大量の世代が入ってくると、同じように大量に抜けていくタイミングというのが出てきます。人口を大幅に増やすというときに大量の宅地開発を行って、人口流入させたとしても、何十年経過する中でこういう状況が生じるということを考えますと、可能な限り今住んでいる方々が定着をして、人口が外に出ていくことを抑制していくことも考えていかなければいけないと思っております。今こうすれば人口が増やせますというお答えをしていませんので、ご質問のお答えにならないかもしれませんが、考え方としては、今申しあげたようなところです。</p>
D	<p>これは根本的に農村問題だと思います。例えば、子どもが正社員で就職してくれたら、定年まで家のことを考えなくてもいい、会社の転勤命令であれば、遠方でも行ったらいい、定年まで考えなくてもいいと答えるしかありません。田舎の現状を見ると。今の農業が儲からないから、どこの集落も限界集落になっていて、誰が農業をやっていくのかという話になっています。だから政府はきちっと指導して、利益の出る農業というものを徹底的に定着していかないと根本的な問題が解決しないと思います。</p>	<p>第4次総合計画にも書かれていますが、農業は三田市の基幹産業という位置づけです。それは、売上高が高いとかというものでなく、そこに住んでいる人たちの暮らしや文化というものを守り、継承していくための、「三田市」であり続けるための重要な産業であるという認識です。</p> <p>三田市でも農業についていろんな振興策をこれからとっていくことにはなりますが、従事者の方の高齢化が進んでいて、それもままならないというようなこともあるかと思えます。私たちは、担当の部署ではございませんが、そういう地域の課題、農業の課題、あるいは若者の流出の問題、そういったことも含めて、トータルで地域の皆さんと市全体で考えていかなければいけないと思っておりますので、ぜひとも私たちにご相談いただいて、農業の活性化であるとか、スマート農業というようなことも可能性としてあるかもしれませんので、そういうことも含めて考えていきたいと思っております。地域の活性化につきましても、この再編計画案の留意事項という中で、地域の皆さんとともに一緒に頑張っていきたいというような内容について、検討してまいりたいと考えているところです。</p>
E	<p>基幹産業の農業ということで、心強いお言葉をいただきましてありがとうございます。大量に住宅を建てて人口を増やすということができないという話もそのとおりだと思います。日本全体としても、これから人口が減っていく中では、住宅をつくっても住んでくれる人が来るかどうか分からない未来が待っています。ただ、三田の農業を基幹産業としてみる場合には、本庄や藍もそうですし、高平もそうだと思いますが、農業をする人が住める地域にしたい。</p>	<p>農業をする方々が住むという視点で、そこに住んでいらっしゃる方々の育児・子育てという視点でのご指摘だと思います。大変貴重なご意見だと思いますので、私たちが十分にくみ取らせていただきたいと思っております。</p> <p>農村部の施設の偏りについて補足させていただきます。本庄に近いものとしては、民間ではありますけれども、長い時間お預かりする施設であれば、あいの保育園があるということ、だからどうという話ではありませんが、情報として補足させていただきます。</p>

	<p>先ほど、幼児施設の偏りのお話をされていて、特に思ったことは、農業をやる人の子どもさんが通うところが都市部に、一番密集地帯に行かなければならない。バスの送迎があるということでしたが、やはりバスの時間に合わせたり、帰ってくる時間と送り出す時間というのは、遠くなるほど住まわれている地域によっては不便になるところが出てくると思います。農村部で保育するというところの利便性というのを考えていただけたらどうかと思います。計画案では、みんなの便利がよく、人口の密集しているところに集める形になっています。そうすると田舎の方の人はみんな不便なところだったら住むのが嫌だと思われるのではないですか。私だったらそう思います。</p> <p>私は子どもも孫もこの年代とは違うので、しばらくの間は全然関係ないという感じもありますが、やはり将来を考えたときに、ここにあったから周りの人が住んで、そこで仕事ができる。もちろん会社に勤めしようと思ったら不便ですが、基幹産業の農業、田んぼや畑を維持するために近くに保育所がある、認定こども園がある。早くから預けることができ、昼間の間、農業をしっかりできるというような場所に残してもらえるといいなど。認定こども園というのは本当にありがたいと思います。</p> <p>昔の子どもはみんな幼稚園などに行かず、近くで遊んで、家族一緒に子どもを大事にしていた。今はどんどん外に仕事に行かないといけないので、子どもを預けるところを何とかしたいということがあります。待機児童はまちの方が多いですが、田舎の方でも早く預けて、長く預かってもらえた方が生活しやすいという案件もあると思いますので、ぜひそのあたりは考えの中に入れていただけたらと思います。</p>	
F	<p>幼稚園を再編することで財政的な効果はあまりないというのは本当ですか。</p>	<p>ざっくりではありますが試算をしております。バスの運行費も含めて計算をさせていただいていますが、長時間にお預かりをする施設になりますし、開設費用、改築費等も発生しますので、そういうところを踏まえて、今後、例えば20年間でどのぐらいの費用がかかるのかということのを試算し、それを年割したとき、決して大幅に削減できるものではありません。</p> <p>単純に園を閉めるだけであれば、削減効果が出ますが、新たに認定こども園と</p>

	<p>して保育内容を拡充し、通園バスも運行すると、それほど削減できるわけではなく、逆に今の予算の範囲の中に収まるように運営を考えていかなければならないというようになってきます。</p>
<p>それであれば、そのまま小規模の幼稚園も残す方法を考えていくことはできませんか。</p>	<p>子どもさんの学びというときに、私どもが申しあげているのは、何かを学習するというのではなく、子どもさんたちがお互いにその一定の人数でいっしょやる中で過ごすことそのものだと思います。もちろん顔が見える関係性というのは十分にわかります。</p> <p>市内の園でいいますと、広野では4歳児が18人、5歳児26人です。三田幼稚園では3歳児が22人、4歳児が32人、5歳児が35人という状況です。三田幼稚園の場合は、32人や35人なのでクラスを分けて、それぞれ担任がついています。その中で顔が見えない形になっているかという、もちろんそんなことはなく、子どもさんに目の行き届いたことを十分させていただけると思います。</p> <p>今は極端な例ですけれども、市内の公立幼稚園に通っていただいている中では、同じように友だち同士がいる中で、いわゆる学習ではなく、友だちと過ごす時間というものを十分に確保するという観点から考えたときには、再編・集約というところも考えていかないといけないと思っています。</p> <p>地域の方に関わっていただく中で、人数が少ない中でも教職員も工夫をしながら、子どもたちにとってどのように関わっていくのがいいのかを試行錯誤しながらやっておりますし、地域の皆さんの関わりの中で貴重な体験をさせていただいているところも十分承知をしているところですが、地域の方との関わり、家庭での教育、幼稚園の役割というのは、やはりそれぞれが担うところがあるのかなと思っております。そういう意味で集団を形成していきたいというところが一つ狙いです。</p>
<p>小規模の保育所、幼稚園には、個々が発言できたり、集団の中に埋もれていけないというメリットがあると思います。なおかつ、家の近くで通わせて、小規模で先生方の目が行き届く。近くに通わせたいし、小規模を望んでいます。現場のことや先生のことはよくわかりませんが、これを一旦廃案にして、小学校の中に幼稚園部のようなものをつくって残すということは無理ですか。</p>	<p>小規模であっても、というお話だと思いますが、具体的に人数として、どの程度というようなイメージされている人数、例えば、10人がいいとか、5人がいいとか、何かある程度考えられているところはございますか。</p>
<p>10人程度で十分だと思います。</p>	<p>10人以下ということですか、それとも10人くらいは必要ということですか。</p>
<p>10人くらいは。それは前後しても大丈夫だと思います。</p>	<p>私たちが集団として申しあげている15人から30人というのは別としても、子どもさんにとっては、それでも10人くらいはというところを持っていただい</p>

		<p>るということだと思います。</p> <p>今後の子どもさんの数や今の在園児を見たときには、実際に2人や3人という園もあります。ある程度の集団の中でという思いを持っていただいているところはおありかと思います。私が申しあげている人数と、ご自身が思っらっしゃる人数の違いはあるにしても、ある程度の集団の中で過ごすことが必要だろうという認識は変わらないのではないかと思います。</p> <p>ただ、近いところがかつ小規模、イメージされているのは10人程度ということですが、そういうご意見があるということ踏まえながら考えていかないといけないというふうにとめさせていただきます。</p> <p>同じことを言うようになるかもしれませんが、子どもさんご家庭でいろんな愛情を受けていらっしゃる、また地域の中で生活して、地域の中で皆さんから愛情を受けていらっしゃる、幼稚園というのは一体、何のためにあるのかということも考えないといけないと思っています。幼稚園の一つの特徴としては、同年齢の子どもが集まってきて、その中で家庭から離れて生活する初めての機会です。将来にわたって友達づき合いや友達づくり、あるいは友だちとのトラブルなども含めて慣れていく、学んでいく。それは言葉で教えるのではなく、経験を通して学んでいくという要素があるのではないかと思います。そういった観点から、先生と園児の関係性とともに、より多くの園児同士の学び合いや育ち合いといった要素も幼稚園の教育の中では、特に重要になってくると思っています。</p> <p>学校教育法や幼稚園教育要領に集団教育が書かれていることが理由というわけではありませんが、そういった集団の中で学ぶということが重要と考えています。その中で、10人がいいのか、15人がいいのかというようなお話になるかと思いますが、資料2ページに市立幼稚園の在籍人数とスタッフの数を書いておまして、この地域以外の他の幼稚園のことになりますが、小野幼稚園は3人の園児さんに対してスタッフが4人います。母子幼稚園は2人の園児さんに対して3人の先生がいます。人数が少ないと、園児同士の会話はどうしても少なくなる傾向にあるというふうに思います。</p> <p>園児同士が、ときには衝突することもあるし、そんなことは後で学んだらいいというようなお話もあるかと思いますが、小学校に入ったときになかなか友だちを作れずに悩むというようなこともあるかもしれません。いずれにせよ、わたしたちは、園児の皆さんが大人になったときにどんな基礎があれば、大人になってからも自分らしく生きていけるのかということを考えて、幼稚園の間には、そういった集団の中で慣れていくという経験も必要ではないかと思っています。</p>
--	--	--

		<p>資料集の 16 ページの他市の状況を見ていただきますと、「望ましい規模」として 20 人の設定をしている市もあります。その中では、三田市は幼児教育に力を入れて、他市との比較からすると、下限の目安として 15 人とさせていただいており、他市のような 20 人や 30 人にはしていないところでございます。そういう意味では、少人数の部分についても一定考慮しながら基準を設定させていただいているところでございます。10 人というご意見があったことについては、そのご意見も含めて 15 人の妥当性について検証してまいりたいと思っております。</p>
--	--	---